



巻頭記事

6月例会開催!!

鳥取県中小企業青年中央会親睦事業
ゴルフコンペ in 倉吉
安来YEG交流事業開催
新入会員オリエンテーション開催

6月例会を終えて
広報委員会 委員長 松尾 友雄

連載
リズ 拝啓、会員様
～森協会長のひとこと～

OB訪問

(核)福栄 岩田慎介OB(第28期ご卒会)

連載
企業紹介 奥森 秀夫・藝本満梨子
私の自慢の一品 生田 育永
おすすめビジネス文庫 遠藤 亨
委員会訪問 政治経営委員会
ちょっと聞いてや!! 県出向監事 増井 幸一

平成24年度総会・卒会式へ向けて
総務委員会 委員長 福庭 貴志

相互理解と協調

2012.7
No.286

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

拝啓、会員様～森協会長のひとこと～

本当にあっという間の1年間でした。入会から10年、社長就任から10年という節目の年に会長を務めさせて頂き、様々な体験を通じて多くの気づきを得ることが出来ました。この1年間の経験を残る会員活動、そして会社へ持ち帰り、有意義に活用していきたいと思えます。今年度非力な私を支えてくれた役員の方皆さん、協力してくれた会員の皆さん本当にありがとうございます！結びにOB諸先輩方をはじめ会の運営に多大なるご支援を頂いた関係各位の皆様には、心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

新入会員オリエンテーション開催

平成24年6月21日(木) 米子市福祉保健総合センターふれあいの里に於いて人間力開発委員会による新入会員オリエンテーションが開催された。森協会長より「入会して10年以上たっても新入会員オリエンテーションで気付かされることがある。今日は中央会の歴史・伝統を学んでほしい。」と挨拶があり、続いて横山委員長より趣旨説明の後、委員会の先輩会員が各パートごとに説明された。内容は①西部青年中央会の位置付けと組織②年間の活動内容、関

ちょっと聞いてや!!

お世話になった中央会も卒会です。そうなると、今まで生活の一部になっていた活動がなくなります。つまり、その時間が空いてしまうということなのかなと思っています。現役中は、仕事も中央会も時間調整をしてしっかりやることが、能力UPの基本だと教えていただきました。実際に仕事も以前よりスピード感をもって取り組むことが出来ていました。中央会に背中を押してもらっていたという感じです。それが、これからは違ってきます。時間があるからといって、自らスピードを落とさないようにしなければなりません。そして、中央会活動で使っていた時間の枠は、自ら工程表を作り、将来の自分のためやお世話になった方々への恩返しとして、より充実した時間に変えて行くようにしたいと思っています。(県出向監事:増井 幸一)

連団体等③西部青年中央会と地域の関わり④周年事業⑤選挙活動に対する方針⑥OB会との関係⑦広報誌・ホームページ⑧共済についてである。質疑応答の後、北口直前会長より「中央会活動に対しての仕事・家庭との両立は大変だと思うが時間調整も能力のひとつ。積極的に参加しなければ何も進まないし始まらない」と総評されオリエンテーションは閉会となった。(記事:足立 駿)



6月度委員会報告

人間力開発委員会
平成24年6月7日(木)於:米子コンベンションセンター 出席者/17名
議題/役員会報告
・新入会員オリエンテーションについて
・5月担当例会について ・その他

政治経営委員会
平成24年6月5日(火)於:ラフィール 出席者/17名
議題/役員会報告
・マインドマップによる自己紹介
・一年間の振り返り
・その他

地域ビジョン委員会
平成24年6月16日(火)於:有限会社 キタグチ 出席者/17名
議題/役員会報告
・その他

広報委員会
平成24年6月6日(水)於:米子コンベンションセンター 出席者/19名
議題/役員会報告
・ハンサム発行について
・OB交流会反省
・6月担当例会について
・その他

総務委員会
平成24年6月8日(金)於:国際ファミリープラザ 出席者/18名
議題/役員会報告
・安来YEG交流事業について
・総会・卒会式について
・その他

新入会員
(広報委員会)

藝本 満梨子 B型
〒683-0824 米子市久米町253-1
TEL 37-3515 FAX 37-3510
(KT) 080-6340-4608
(EM) tademoto@gainare.net
S51.10生

中央会の皆様、OBの皆様には弊社への多大なご支援をいただいております。様々な諸先輩方から、弊社へお声がけを頂きこの度入会させて頂く事となりました。微力ではございますが、地域の発展のため精進する所存でございますので、何卒ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

編集後記

皆様のご協力により1年間、ハンサムを発行することができました。“見やすいハンサム”を心掛けスタートし、早いもので1年が過ぎようとしています。皆様、見やすかったですでしょうか。読みやすかったですでしょうか。至らない点が多々あったと思いますが、最後までご愛読頂きありがとうございました。最後になりますが、原稿依頼に快くご協力頂いたOB会員、現役会員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。(記事:第37期広報委員長 松尾 友雄)

7月役員会報告

7月役員会が平成24年7月2日(月)米子全日空ホテルにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・6月例会開催報告の件
・7月総会・卒会式、懇親会の件 ・その他
*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

7月総会・卒会式・懇親会のご案内

と き:平成24年7月12日(木)
18:00~19:00(総会・卒会式) 19:15~21:30(懇親会)
と ころ:ホテルサンルート米子
内 容:総会・卒会式・懇親会
担 当:37期総務委員会、38期総務・40周年事業準備委員会

6月例会開催!!

「成長」から「挑戦」へ

日時:平成24年6月18日(月) 場所:米子コンベンションセンター小ホール



第37期の活動を締めくくる6月例会が開催された。冒頭、森協会長より、「1年間があっという間であった。私自身、よい経験もさせてもらった。成長に疑問符もあるが、それぞれの委員長の発表を楽しみにしている。」と期待感のあふれる挨拶をされた。続いて、新入会員の藝本満梨子会員にバッジ授与が行われた。藝本会員より、「綱領にもある様、自己の研鑽に努め成長していきたい。」と抱負を述べられた。第37期活動報告に移り人間力開発委員会 横山委員長、政治経営委員会 谷口委員長、地域ビジョン委員会 長谷川委員長、広報委員会 松尾委員長、総務委員会 福庭委員長の順に、各委員会全員で送り出し、一年間の活動に対する成果を発表され、その思い出に涙で言葉にならない場面もあった。総括として森協会長より「1年前を振り返ると、委員長それぞれ個性の強い人が集まっていた。今となると一丸となって頼もしい姿で、それぞれの成長した委員長より「良かった」の言葉があり、会長としても「良かった」と感じている。皆さんも自分の番がきたら段に立つ勇気を。」と締めくくられた。続いて第38期河津次年度会長並びに役員紹介の後、河津次年度会長より方針発表がおこなわれた。スローガンは「挑戦」。中央会の伝統は守っていかねばならない。しかし、前に進むためには、挑戦をする気持

ちをもたないと成長できない。」テーマは「自分自身の中の壁を越える為に」。自分自身にしかわからない壁を持っていると思う。そこに挑戦していき、成長していく。」委員会は、メディアコミュニケーション委員会「ハンサム」の発行は勿論、テレビ媒体等のメディアも活用していく。政治行政委員会「前回の地域防災フォーラムを受け、原発、瓦礫の受入等を考えていく。」「チャレンジ委員会「職、スポーツ等を通じて、地域の活性化を考える。」「教育対策検討委員会「会員も教育世代が多いので将来の子供の為に、学校とも連携して提言ができるようにする。」「道州制問題検討委員会「難しいが、いろいろな角度より提言が出来るよう考える。」「総務・40周年事業準備委員会「10年前の反省もふまえ、予算・企画の段取りをしていく。」と力強く発表された。そして新理事であるメディアコミュニケーション委員会 長谷川貴久委員長、政治行政委員会 古谷委員長、チャレンジ委員会 上田委員長、教育対策検討委員会 白石委員長、道州制問題検討委員会 濱田委員長、総務・40周年事業準備委員会 盛政委員長より配属される会員の発表及び熱い決意と抱負を述べられた。最後に卒会される石川会員より「配属される会員が呼ばれる時に、自分が呼ばれないのは寂しい気持ち。」と言われた後、出席率発表をされた。熱い想いが伝わる6月例会は閉会した。(記事:角田)



6月例会を終えて...

37期最後の例会を担当させて頂きました。準備からリハールと委員会メンバーにご協力頂き無事終わることができました。最近の例会では少なくなってきたのですが、パソコンでのトラブルが無いように何度も繰り返し動作確認をし、1年の集大成の場である委員長の委員会報告に水を差すようなことが無いよう心がけました。

広報委員会 委員長 松尾 友雄

38期方針説明では、河津次年度会長より「挑戦」というスローガンについて力強いお話と38期委員会構成の発表がありました。また、38期次年度委員長より委員会メンバーの紹介と抱負もあり、37期から38期へパトントンタッチされる時が来たなと感じる例会でした。

平成24年度総会・卒会式に向けて



いよいよ平成23年度最後の事業となる平成24年度総会・卒会式が近づいてまいりました。総会は第37期から第38期へバトンを渡す大変重要な事業です。無事、第37期森脇丸の帰港と第38期河津丸の船出が果たせるよう、第37期総務委員会メンバー一丸となっ

てサポートいたします。また長年にわたり本会の活動へ真摯に取り組み貢献された、この度ご卒会される11名の皆さんに心より感謝とお祝いの気持ちを込め、卒会式を挙行いたします。

そして、第37期総務委員会も最後の担当事業をやり遂げ、第38期総務・40周年事業準備委員会へバトンを渡したいとおもいます。どうぞ、よろしくお願ひします。

(総務委員会 委員長 福庭 貴志)

企業紹介

新和産業株式会社

奥森 秀夫



弊社は船舶・建築・コンクリート・橋梁と、幅広い分野の塗装を行っております。

しかし創業時からすべての分野の塗装を行っていたわけではありません。当初は船舶塗装で基盤を作り、その後建築・橋梁塗装で客先を広げ、そして防食(コンクリート)塗装で県外の工事も受注させていただくようになりました。今ある技術をベースに最新の技術と最新の情報を融合させ、新しい分野にチャレンジしてまいりました。

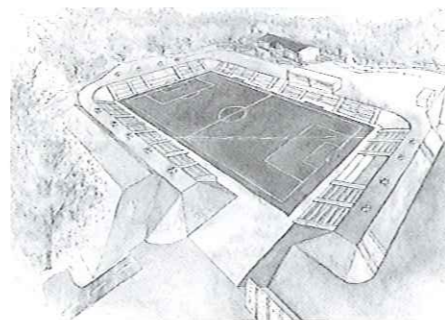
現在は施工能力だけを求めるのではなく、「環境にやさしい技術」環境ホルモンを含まない塗料の選定や、環境に配慮した施工技術の習得にチャレンジしております。また、弊社名は新和塗装でなく新和産業です。塗装業だけでなく、不動産事業・省エネ機器事業・海藻堆肥事業と新しい事業にも取り組んでおります。

お客様からのご要望にお応えできるよう、またご提案できるよう邁進してまいります。

企業紹介

株式会社 SC鳥取

蓼本満梨子



弊社は、J2『ガイナレ鳥取』の管理・運営を行っている会社です。トップチームだけでなく、高校年代、中学年代の下部組織の育成や、子供たちの外遊びを促す復活公園遊びなども行っています。

現在、日本初みんなで作るスタジアムと称して、トップチームの試合開催も視野に入れた、次世代の育成の拠点となり、地域の憩いの場となる強小の森スポーツパーク(仮称)YAJINスタジアムを米子市安倍に建設中です。11月末に完成予定ですが、まだまだ皆様のご協力が必要です。今後ともご協力何卒よろしくお願いいたします。

私の自慢の一品

生田 育永



どうです？夜光貝の貝殻。立派でしょ？

先日の沖繩へ視察研修に行った際にゲットしたんです。

2日目の公設市場の食堂で、この夜光貝の刺身をみんなで食べてね。

食べ終わった時に佐々○ 尚さんが、松田○紀さんのお店に飾る用ということでお店の人にその貝殻を包んでもらったんです。

その時ピーンときてね。「はは～ん、こいつ(夜光貝の殻)ホントは、オレにお持ち帰りされたがってんな～。」って。というの、うちの上の娘が貝殻収集が趣味で、こんなサイズ持って帰ったらオレのポイント5倍アップどころじゃすまないでしょ？だから佐○木さんには「尚さんもお疲れでしょうから、僕が幸紀さんのお店に届けておきましょう。」って、現在に至る訳。ということで、「幸紀さん、娘が飽きるまで今しばらくお預かりいたします。」

おすすめビジネス文庫

紹介者:遠藤 亨 会員

『ソフトバンク新30年ビジョン』

ソフトバンク 新30年ビジョン制作委員会 著

ソフトバンクという会社が出るまで、そしてこれから30年先のビジョンを明確にした書籍です。皆さんご存じのソフトバンク社長 孫正義氏、この人は私が最も尊敬する人物のひとりです。孫正義氏は、「世に生を得るは、事を成すにあり」と、坂本龍馬の言葉をよく引用されています。この言葉を聞いた時に、「自分はこの世に何の為に生まれてきたのだろうか？何か役に立つことをしているのだろうか？」と問いかけ、自分の好きな言葉となりました。坂本龍馬のように世の中のために、志高く生きたい！孫正義氏のようにひたむきな情熱で夢を実現させたい！と自分の人生を真剣に考えさせられた書籍です。

30期の株主総会で行われた実際の30年ビジョン発表のDVD付きです。是非ご覧ください。

OB訪問

(株)福栄 代表取締役

岩田慎介OB (第28期ご卒会)



6月のOB訪問は、第27期会長28期ご卒会、(株)福栄代表取締役岩田慎介OBの職場へお邪魔させて頂きました。

岩田OBと言えばカニとイカです。

全国水揚げ6位、加工技術日本一を誇る境港のカニの分野に於いて、境港構造改革再編プロジェクトの生産モデル企業として、最新式省エネ船の導入を始めとする様々な取り組みは県内でも一社独走の状態にあり、イカの分野に至っては、農林水産省が提唱している材料調達～加工～流通までを一貫で行う県認定《6次産業化企業》として強いブランド力を持つ、常に最先端の業務形態へ取り組んでお

られるそうです。

また水産庁と共に韓中との暫定水域に於ける民間交渉(ルールの差を縮めたり、事故等の交渉をする)を行う業界代表を務めておられます。

第27期会長のお立場から、現在の中央会についてもお話を伺いました。「当時から会員数は減少傾向にあったが、この不況の10年間に100名を維持し続けている会のパワーは凄い。」「自分は29歳の一番大変な時期に入会したが、色々な先輩達にお世話になり、陰ながらしっかりと学ばせて頂くことができた。自分が同年代になった時、同じように先輩達にも学んで貰えた。」「色々な業種・立場の人材が集まり、自分がないモノを持つ会員が居て、謙虚に学ばせて頂くことが出来る。中央会はそんなありがたい場だ。」「今年の会長も、歴代の会長に勝ると劣らない行動力、引率力、広い視野を併せ持つ立派な『まとめ役』だったと思う。」

ご協力に御礼申し上げますと共に、今後とも我々後輩達をお見守り下さいませようお願い致します。(記事:長谷川)

安来YEG交流事業開催



平成24年6月3日(日)安来商工会議所青年部交流事業として、ウォークラリーが開催されました。当日は絶好のウォーキン

グ日和となり、立っているだけで汗がにじみ出るほどでした。冒頭に両団体の会長から挨拶があり、続いてジョギングマップ活用のアドバイスが田中健雄会員からありました。

さあ、「いよいよスタート」とその前にみんなで準備運動。しかし準備運動後、聞こえる声は「ギブアップ」「もう足がっすり」と普段の運動不足の声続出。そんな不安の中、全8チームに別れスタートとなりました。総距離約7km(湊山公園～あらエッサ)で4ヶ所のチェックポイントで出されるク

イズに答えながら進んでいくスタイルで、道中の会話を楽しみながら、景色を楽しみながら、スタート時の不安はどこに？というほど意外とすがすがしい顔でゴールとなりました。

その後、懇親会場の中海の郷へ移動し、安来YEG山本直前会長の乾杯の発声で懇親会がスタート。十分乾いたのを潤すビール等も非常に美味しく、一気に大盛り上がりとなりました。その中、新年度安来YEG役員・次年度中央会役員の挨拶があり、最後に中央会河津次年度会長より「今後も地域活性化のため、中海圏の経済団体による交流事業を続けていきたい」と話があり、次年度そして未来へとつながる意義のある交流会でした。(記事:奥森)

委員会訪問

～政治経営委員会～



6月5日(火)ラフィールに於いて、今期最後の政治経営委員会が開催されました。

谷口委員長から「残りわずかですが、気を引き締めていきたい。これから委員長になる方もいると思うが、自分が出来なかったことや足りない部分を反面教師にしてでも、良い委員会を作っていくて欲しい。」との言葉があり、とても印象的でした。

この1年間の振り返りでは「政治・経営という難しいテーマだったが、総合特区制度を勉強した事で地域の事がよくわかった。成長できた。」「マインドマップを自分の会社にも取り入れた。」「等、経済団体らしい委員会活動をしてこられたという印象を持ちました。

続いて、マインドマップという手法により、発表者が自分の名前を中心に生い立ちについて重要なキーワードを記載していくという一風変わった自己紹介がありました。とてもわかりやすく、楽しみながらその人の事を知る事ができ、とても参考になりました。

そして、最後に今期で卒会となる向井会員、加藤会員に記念品の贈呈や委員会メンバーから言葉があり、政治経営委員会の団結力や暖かみを感じた委員会訪問でした。(記事:足立匡)

鳥取県中小企業青年中央会懇親事業 ゴルフコンペ in 倉吉

平成24年6月2日(土) 倉吉ゴルフ倶楽部



鳥取県中小企業青年中央会懇親ゴルフコンペが倉吉ゴルフ倶楽部で開催された。山上真治県会長より「最高のゴルフ日和です。怪我には気を付けて親睦を深めましょう」と開会

のご挨拶を頂いた。

コンペは18Hストロークプレー、6インチプレス、ダブルペリア方式で行われ、また初心者救済のギブアップ制度(パープレイの3倍)が設けられた。

当日は、東中西の会員総数36名の参加で、和気藹々とスタートした。

天候も良く辺り一面緑に囲まれた中で、難しいコースの攻略を楽しまれた会員、芝と格闘された会員、はたまた二日酔いと格闘された会員それぞれ楽しいラウンドとなったようだ。

コンペ終了後、クラブハウスの2階で表彰式が行われ、優勝は西部の赤井宏之会員で、「優勝できて嬉しいです。ありがとうございました。」とのコメントだった。

(記事:足立駿)